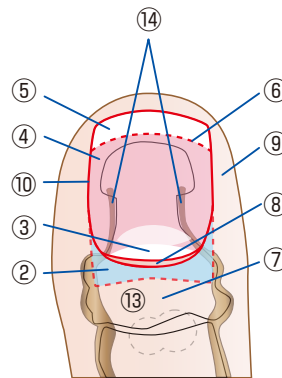
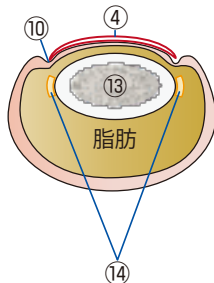
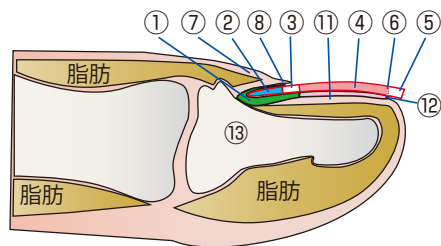


爪の構造図



- ①爪母(そうぼ)
- ②爪根(そうこん)
- ③爪半月(そうはんげつ)
- ④爪甲(そうこう)
- ⑤爪先(そうせん)
- ⑥黄線(おうせん)
- ⑦後爪郭(こうそうかく)
- ⑧甘皮(あまかわ)
/爪上皮(そうじょうひ)
- ⑨側爪郭(そくそうかく)
- ⑩爪溝(そうこう)
- ⑪爪床(そうしょう)
- ⑫爪下皮(そうかひ)
- ⑬指骨(趾骨)の末節骨
(しこつのみせつこつ)
- ⑭側骨間靭帯
(そくこつかんじんたい)

※注意点※ これらの名称は、書物によって呼び方が異なることがあります。

■ 1 ■ 爪と爪周辺組織の簡単な説明

爪は、爪甲と爪根、爪先からできています。

- ① **爪母** (ネイルマトリクス) 爪根を包み込んでいる部分の事で主にここで爪が作られます。
- ② **爪根** (ネイルルート) 爪の根元部分です。
爪根は出来立ての爪で爪半月よりも柔らかく、保護の為露出しないよう後爪郭で囲まれています。
- ③ **爪半月** (ルヌーラ) 爪甲の端の部分で、ちょうど甘皮の近くに有るぼんやりとした白い色の半月形の部分です。
これは出来て間のない爪なので柔らかく、強く押すとへこんだり鈍い痛みがあったり、手荒に扱うと傷がつき爪に段ができることがあります。
- ④ **爪甲** (ネイルプレート) 爪床に乗っている爪の部分です。
薄っすらとした色が少し入っているものの、ほぼ透明で爪床の毛細血管中の血液の色が透けて見えるため、健康な爪甲は薄いピンク色をしています。
- ⑤ **爪先** (フリーエッジ) 爪が伸びて爪床から離れて白く見えている部分。
- ⑥ **黄線** (イエローライン) 爪甲と爪先の境目にあるぼんやりと黄色に見える線のこと。
- ⑦ **後爪郭** (ネイルフォールド) 出来立ての爪を保護する役目を持っています。
- ⑧ **甘皮 / 爪上皮** (キューティクル / エポニキウム) 後爪郭の一番端の部分で 0.5 ミリ～1 ミリ程度の狭い幅の薄い皮膚です。
雑菌が体内に入り込まないように、ふたの役割をしています。
- ⑨ **側爪郭** (サイドウォール) 爪の両サイドに有る厚みのある皮膚で、爪を支えたり衝撃から爪を保護する役割があります。
- ⑩ **爪溝** (ネイルグループ) 爪床と側爪郭の間にある爪を支える溝で、爪の通り道ともいえるでしょう。
- ⑪ **爪床** (ネイルベッド) 皮下組織の一部で爪甲がその上にあります。
爪床には、爪甲の形成と維持に必要な栄養を補給するために血管が通っています。
また爪床には神経も通っています。
- ⑫ **爪下皮** (ハイポニキウム) 爪甲と爪床間にある両者をつなぐ細胞で爪を長期間長く伸ばしていると爪先(裏)側に出てくる場合があります。
- ⑬ **指骨(趾骨)の末節骨** 手や足のゆび先端の骨
- ⑭ **側骨間靭帯** 末節骨のサイドに沿って中節骨方向へつながる靭帯。

① 爪はここで 100% 作られていると言われてます。(また書物によっては80%の爪が作られていると書かれています。)

② 髪の毛で言うところの「毛根」にあたります。

④ 主成分はケラチンです。

⑦ この部分を無意識によくいじる人がいますが、特に親指をいじる人が多いようです。
そういう人の中にはその爪だけに段がいくつもできていたり、甘皮や後爪郭のあたりが腫れていたり、荒れていたりします。

⑪ 書物によっては、ここで爪の20～30%が作られると書かれています。
また、爪甲は爪床に密着しているだけで、完全に固定されていません。

⑫ 手の爪の爪下皮

